一般社団法人
ロゴス腹話術研究会
2025年8月28日
会報
第29号

説教「アブラハムの信仰」彼は望みえないのに、なおも望みつつ信じた。

聖書：ローマの信徒への手紙４：１８－２１

田口昭典　牧師

春風イチロー師匠生誕１００周年。イチロー師匠召天１０周年記念にあたり、師匠の思い出を分かち合いたく思います。師匠との出会いは神学生時代。東熊本バプテスト教会で初心者講習会が開かれました。妻の親友の蔵原裕子さんが勧めてくださって福岡から熊本へ。ロゴスのメンバーであったメアリー・ジョー・ランドル先生が宣教師をしておられました。「あえいえうおあ」「アエイエウオア」の練習。自己紹介で「今牧師になるために大学で勉強しています」「はい、ボクシング（牧師ing,牧師の進行形）をしているんですね」。一同大笑い。師匠の温かい笑顔、これが第一印象。以来、ずーとお世話になり可愛がっていただきました。最初の赴任地北九州の若松では初心者講習会を何回もしていただき、北九州支部が発足しました。金沢に赴任した時も、師匠に何度も足を運んでいただきました。時には、夜行寝台で来て、夜行寝台でお帰りになるというスケジュールの中でもご奉仕くださいました。教会を元気にしていただきました。

ある時は、貧乏牧師が精一杯のおもてなしをさせていただきました。福岡空港までお送りしてお別れした時、車を降り1-2歩して立ち止まり、戻ってきて車の窓をちょっと開けるように示しました。開いた隙間からポイと封筒を投げ入れ、颯爽と空港ビルに入って行かれました。封筒には２万円も入っていました。45年も前のことですが今も鮮明に心に焼き付いています。江戸っ子の気風の良さ、粋に感じる心のやさしさ、とにかく温かい愛の人でした。

アブラハムは紀元前2,000年の人です。メソポタミヤ文明の中、カルデヤのウルという地方出身です。お父さんはテラと言い、ユダヤ教の伝承では、偶像崇拝者であったと言われています。

ヨシュア記２４：２には、アブラハムの父がユーフラテス川の向こうに住み、他の神々を拝んでいた、とあります。アブラハムはキリスト教、ユダヤ教、イスラム教という３大宗教において、「信仰の父」と呼ばれ、尊敬されています。アブラハムの信仰は「希望するすべもなかったときに、なおも望みを抱いて信じた」と言われています。

創世記１２章１－４。神の招きは、故郷を離れ、父の家を離れ、神の示す地へ行け！でした。地縁、血縁、財産を手放し、ただ、与えてくださる神を信じて、行き先を知らず出発しました。神は子孫を増やします。大いなる国民になると約束しました。彼らには子どもがありませんでした。すでに75歳になっていました。

創世記１５章。神の約束を信じたアブラハム。アブラハムは、「恐れるな！」という神の声に聞き従いました。あなたの子孫は天の星のように数え切れないほど多くなります。あなたにこの土地を与えます。約束はまだ果たされていません。厳しい現実があります。約束の実現が遅れています。にもかかわらず、躓いても不思議ではない、厳しい現実の中で、なお信じ続けるアブラハムがいます。

創世記１８章。イサク誕生の約束を信じたアブラハム。およそ100歳になった老人アブラハム。妻サラは月のものがとうになくなっていました。この夫婦に、神は男の子を与えると約束しました。アブラハムは神を信じました。

この信仰はどこから来るのでしょうか？これはアブラハムの努力や忍耐の結果ではありません。様々な経験や獲得した知識の結果ではありません。

アブラハムには何もありません。アブラハムの信仰とは何もない、すなわち空っぽの信仰です。

この世の中での問題は、私が空っぽではなく、私が様々な確信や知識や私の信仰、信念を持っているところから起こります。正しい考え、正しい行い、正しい信仰という私の正しさが前面に出てくると、自分の正しさで一杯になり、何も入ってくる余地がなくなってしまうのです。私たちは自分の持っている確信、正しさを失いたくありません。それを守ります。そのようにして、私たちは神を私たちの人生から閉め出してしまうのです。

空っぽなら、神の言葉も約束も全部私の中に入ってきます。私たちの希望は、私たちの可能性の延長線上にある希望です。どこまでも、私たちの願望です。しかし、アブラハムは望みに逆らって望むのです。

最後に、アブラハムの信仰にあらわれた聖書のメッセージについて話します。

旧約聖書の神は恐ろしい神。敵を絶滅させる神を聖書は肯定している、と批判する人たちがいます。

だからイスラエルは、ガザでの絶滅行動を聖書によって正当化する、と批判します。

アブラハムはそれに対して答えています。

創世記１８：１６以下。

特に２５節。アブラハムの訴え。告発。あなたは正しいものを悪いものと一緒に滅ぼすのか？全世界を裁くお方は正義を行うべきではないか！と。

ローマ４：１８－２１に神を疑わず信じる信仰の父の姿を見ます。

まとめのことば

映画「北の零年」の映画を見ました。少し古い映画で、吉永小百合主演の111本目の映画。その最後の場面で、迫害、圧迫、裏切り、暴力に耐えてきた、主演の吉永小百合が語る言葉がすばらしいです。

「生きている限り、希望する力がある限り、誰かが私たちを助けてくださる」。新しい出発がはじまります。

（日本バプテスト連盟 福岡ベタニヤ村教会牧師）

この説教の動画はQRコードから
視聴できます。

2025年度

総会・技術認定・研修会

2025年6月21日に定期総会が行われ、2024年度の事業・決算報告、2025年度事業計画・予算が承認されました。また任期満了に伴う役員の改選により、以下の新役員が決まりました。

理事長：野田めぐみ、理事：釜土達雄、田口昭典（新任）、高橋信夫、伊東ゆたか、監事：春風イチゴ（守矢美知子）。なお春風とんぼ（加藤昭）先生と春風つばめ（木戸定）先生は理事を退任されました。今までのご尽力、ご貢献に感謝申し上げます。とんぼ先生にはご負担のない範囲での相談役をお引き受けいただいています。

理事長挨拶

2025年度はロゴス腹話術研究会にとって記念の年です。春風イチロー師匠の生誕百年、天に召されて10周年でもあります。牧師であった師匠は、神さまの愛、みことばの「ロゴス」を伝えるため、このロゴス腹話術研究会を設立されました。法人となってから10年目となりますが、この間9名が新たに春風を襲名しました。その心と技を忠実に学ぶことで、次の世代にも伝えていきたく思います。このイチロー師匠生誕百年を機に、その腹話術を広めた理念と歩みを振り返り、全国にいる師匠の弟子たちが交流し、共に学び合えるよう環境を整える努力をしていきます。

腹話術は、自分では言えないことでもお人形を通して伝えられます。そのためには言葉を選び、相手を思って話すこと、時間をかけて作る台本が大事です。一人では難しくてもお人形さんとなら楽しく話せて笑いをみんなと分かち合えます。この研究会が生き生きと発展し、多くの人がロゴスの心と技を学び、心の平安、神さまの愛、幸せを伝えられるよう願います。

本研究会はご指導くださる春風とんぼ先生により研修会を継続してきました。今回は残念ながらご欠席ですが「秋の研修会には体調を備えて参加します」とのことで、ご回復を祈っております。

理事長　野田めぐみ

講演

2025年　ロゴスを楽しもう！

2025-2-10　春風とんぼ

※全体のレジュメはQRコードから

何が…くせになったかな？

朝　目が？醒めた時　まっ先にすること
鏡を眺めてニッコリ！　明るい声でご挨拶！　優しいまなざしで軽いうなずき！

お稽古も　あなたの楽しい生活の手順に！

1　口の体操　　2　声・のどの体操　　3　顔の体操
4　「ま」　　9パタ　動き（演技）　マタイ　マルコ　ルカ　ヨハネにつける「ま」
5　自分の「ま」　　自分の台本　独特の動き　打音を組み合わせる「ま」　声を出さないC打音
6　「自分」の台本の完成　演技　演出　　7　小分（漫画を含む）声を出して　読む　書く　推敲

くせをつくるのに　ほんの瞬間の動作をくりかえす　この動作がくせを必ず作ります。

春風テッテル

とんぼ先生に大事な話を伝えて欲しいと託されました。私なりにこれまでにうかがった先生のお話と大切なレジュメ「2025年ロゴスを楽しもう」をひもときながら、一つずつ皆さんと確認し、頭の中に入れたいと思います。今の先生のお年までご指導いただいていることは、本当に宝物だと思いますので生かしていきましょう。

腹話術の基本練習：笑顔と挨拶

「何がくせになったか」のとんぼ先生からのアンケート項目があります。ぜひ答えてくださいね。みなさんは朝起きて鏡を見て笑顔ができますか？　（全員に人形を抱っこしてもらい）人形に笑顔を向け、明るい声でご挨拶してみましょう。やさしいまなざしは、意識して努力をすると、人形と共にできるようになり腹話術は成長します。（数名の参加者が指名され、人形に「おはよう」と挨拶する練習を行いました。）

９パタの練習と表現力の向上

９パタを一緒にやりましょう。人形を膝の上に乗せます。膝のトップに乗せて、ちょっと動きやすい感じになっていますね。５歳の子が自由に暴れて動いています。「人形は人形にあらず。一人の個性として見なさい」と、とんぼ先生は言われました。「〇けんちゃん」の呼びかけから始まる９パタをきっちり練習しましょう。人形のお耳のあたりにまなざしを向ける術者との位置関係は重要です。また、明るい声、くもった声、泣き声など様々な表現を練習します。腹話術は演技ですから表現力を高めるようにしていきます。

台本作りと笑い

台本作りは重要です。書いた台本をそのまま演じるだけでなく、観客が笑ってくださったから、もっと笑いのある言葉を使おうとか、反応がないなら刺激のあることを言ってみようかとか調整する

ことは大切です。とんぼ先生は「校正、添削、推敲を重ねる」とおっしゃっていますね。その経過の中で、同音異義語（発音が同じで意味が異なる語）で笑いを誘うことも考えます。例えば「〇お花きれいね」「×ソウネ」「〇あんたのお鼻は、きたないね」「×ウワー！」とかね。花と鼻の「はな」違いみたいなことでも、台本に生かせます。生活で何か面白いことがあったら、これ使えるかな…と生活の一部として楽しんで、台本をどんどん膨らませましょう。

口の体操と表情の練習

術者は大きな口を開けて話し、人形の頭音では口を横に引っ張った「イー」の口で、歯を食いしばる感じにします。「言葉のイリュージョン（幻想、錯覚）」と、よくとんぼ先生はおっしゃいます。術者が話す時も小さい口ですと差がない。差がなければ面白みもなくなりますので、意識なさっていただくといいかと思います。それから大きな口を開けると声、喉の体操にもなります。こう喉をしっかり開ける、閉じる。それから腹式呼吸、お腹から息をパッと吸ってお腹へ入れてからお話をしましょう。

顔の体操、豊かな表情で「う-お-あ-え-い-」ですね。人形を動かしながらいきますよ。「うー」と言ったら人形は目をつぶる、まばたきをします。まばたきは30って言いますね。話をしたらすぐまばたきです。（口や表情の体操にも人形の動きを取り入れることの大切さを強調し、顔、頭、胴、手、足の動きを組み合わせた練習を皆で行いました。）

「くせを作るのに、ほんの瞬間の動作を繰り返す、この動作がくせを必ず作ります」と、とんぼ先生はレジュメに書かれています。ぜひこういった練習を繰り返し、楽しく、くせにしていきましょう。ありがとうございました。

発声練習

春風すみれさんとたみ子さんによる、お人形を動かしながらの発声練習がありました。

まず術者がゆっくり大きな口で発声し、人形が続きます。そしてまばたきをします。

〇うおあえい　×ウオアエイ（まばたき）

〇くこかけき　×クコカケキ（まばたき）

〇すそさせし　×スソサセシ（まばたき）

次の練習は、術者、人形の順に発声しますが、人形に動きも加わります。

〇かいーたいーあい　×カイータイーアイ（顔を左右）

〇ゆいーといーおい　×ユイートイーオイ（体を左右）

〇うんーすんーふん　×ウンースンーフン（体を前後）

〇きれーとれーふれ　×キレートレーフレ（手を上下）

〇いれーしれーられ　×イレーシレーラレ（手を左右）

〇あらーがらーとら　×アラーガラートラ（体の移動）

〇せろーとろーけろ　×セロートローケロ（体の回転）

〇たやーごやーほや　×タヤーゴヤーホヤ（足の組みかえ）

とても大事な練習です。QRコードの当日の動画を見ながら動きも入れてご一緒にどうぞ。

台本研修

今年は「クリスマス」をテーマにしています。何をイメージするか、言葉、内容を考えて台本を作りました。グループで話し合い、修正し、演じ、その手応えでまた修正しを繰り返しています。まだ完成には至っていませんが、途中経過ということでお二人に発表していただきました。

1　川村かをるさんの台本

この「クリスマス　おめでとう」の台本では、クリスマスについて話し合っています。ななちゃんはツリーを飾り、チキンを食べる楽しい日とのイメージです。サンタクロースは煙突がなくてもどこからでも来て、良い子にプレゼントをくれると術者は説明します。さらにクリスマスはイエス・キリストが生まれた日で、イエスさまは不思議な力で多くの人を助け、人を愛する大切さを教え守ってくださること、いつでも見守ってくれているので困った時には助けを求められると伝え、ななちゃんは感心します。最後、手を合わせて世界中のみんなの幸せを願ってお祈りしましょうと締めくくられました。

みなさんのコメント

9パタを無理に使わなくても台本に合わせて2パタでも良いと思う、ダイナミックで良い演技だったなどの意見がありました。また「サンタさんはどこから来るの？」と問いかけるシーンで、ななちゃんがきょろきょろと上を向いたりしてから「エントツ、ナイネ」とする細かい動き、間のとりかたについて具体的な提案がありました。

川村さんコメント

みんなの前の演技ですごく緊張しました。出来たことを感謝いたします。

2　シスター小長谷壽子の台本

「くつやのまるちん」の物語を術者が語り、お人形のしんちゃんが相槌や短いコメントを入れる形で進行します。

まるちんは小さな地下室で働き、窓から靴だけを見て誰かが分かるほど熟練した職人でした。しかし妻子を亡くし寂しい日々を送っていました。ある日、まるちんは聖書を読み始め心が休まりました。夢の中でキリストさまが「明日あなたのお店に行くからね」と告げます。翌日、まるちんは雪かきで疲れたおじいさんを店に招き入れ、温かいお茶でもてなしました。その後、赤ちゃんを抱いた寒そうな女性も招きパンとスープと上衣を振る舞いました。リンゴを巡ってトラブルになった男の子とおばあさんの仲裁もしました。夜になると、昼間出会った人々が再び現れ、最後にキリストさまの声が聞こえ「小さな者の一人にしたことは、私にしたことですよ」と告げられ、それらの人々がキリストさまであったことが明かされました。

みなさんのコメント

演者の衣装をいつもの黒から白に変え、人形との色の違いをより明確にしたとの説明がありました。台詞について、名前の繰り返しや説明は省けるのではないかという意見が出ました。人形の首から下の身体の動きに配慮すること、両端の観客にもきちんと目を合わせるべきという具体的提案もありました。

シスター小長谷コメント

広い視野での助言で、上達のためのたくさんの示唆をいただきました。

技術認定

3級合格
栗山友紀さん

技術認定　講評

審査委員長　春風テレサ

栗山友紀さん、三級合格です。おめでとうございます。

基本の「イツツ」と型：

よくお勉強されているのがわかりました。ただ一番最後のところは九パタができていませんでしたね。導入のB「イツツ」は基本なので、よく学んでほしいと思います。イチロー師匠から習った型が、最近変わってきているのか少し気になっています。伝統ですから、やっぱり型は同じように継続していけるよう、私たち春風も勉強を続けたいと思います。

ボランティアに行けば、この型はくるいます。老人の方、子どもさんとお話をする時、掛け合いもありますから基本通りにはできません。でも綺麗な腹話術をするには、９パタを使いたいです。５パタ、２パタ、１パタとか他のパターンを使うこともできます。基本をきちっと学んだ上で崩していくことが大事だと思います。自分の台本の練習をする時も、まずイツツをおさらいしてから取り組みましょう。そうすればイツツを忘れることはないです。やらないと忘れて動作もくるってきます。「癖をつける」、「癖になりそう」というのは、そういうことです。とんぼ先生が言われているように、癖にするっていうことが、とても大事です。

練習の工夫：

5分、6分の練習をと言いますけど、5分では腹話術の勉強はできません。始めれば6分、10分、30分とかかります。お風呂やトイレの中でも「〇けんちゃん」「×ナアーニ」ってやって良いんです。どんなところでも練習はできますしイメージトレーニングも大事です。お人形がなくても、頭の中で、今、ケンちゃんはこんな顔してるとかイメージします。師匠から言われたことは「百回」。練習も百回やっていくことによって、人形の心の声が出てくるんですよ。棒読みじゃなくって、それが生きてる人形になってきますから。私たちは、お互いに話をするとき、棒読みで話しませんよね。普段お話しするようにできてきたらいいかなと思います。

まばたきちょんちょんとご挨拶：

「ケンちゃん」って声かける前に、人形のまばたき、ちょんちょんします。師匠からそう教えていただきました。お客さんの前に立った時、ケンちゃんにいつ声かけていいかわからないじゃないですか。横を向いて「ケンちゃん」とする前に、ちょんちょんまばたきしてから、ゆっくりと始めます。また早く喋ったりすると、お年寄りにはうまく聞こえない場合があります。必ずしも前の舞台で話さなくても、脇を歩いていって、ご挨拶をすればいいですね。「お元気ですか？」「綺麗なお洋服ですね」とか言われると皆さん喜びます。私はそんなふうに一人ひとりに声をかけご挨拶をするようにしています。昔とんぼ先生から歌でご挨拶することを習いました。

〽こんにちは、どなたです？
（お客さん）「わたしは～です」
〽あーあーあーあー、そうですか

うまく歌わなくていいんですよね。下手くそな方が面白いですから。みんなが笑ったら、緊張も解けますね。そんな風にやってください。

栗山さん、頑張ってくださいね。今度、2級でお会いしましょう。

栗山友紀さん　コメント

今回技術認定を受けさせて頂くためにたくさんの方にお世話になりました。発声、人形操作、打音など大切な基本をたくさん教えて頂いて、無事合格できました。ありがとうございました。

研修会　他の春風から：

春風たみ子さんは、「理解して欲しい（18歳と81歳）」の資料を用いて、笑いの重要性について語りました。「道路を暴走するのが18歳、道路を逆走するのが81歳」「心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳」「夢を持つのが18歳、杖を持つのが81歳」「こういう思い、笑いは、そこら中にあります」と日常の中で見つけた笑いを書き留めておくこと、その観察や経験を台本作りに活用することを提案しました。

春風ひすいさんは腹話術で、モンゴルの少年スーホーと白い馬の物語を語り、馬頭琴の音色も紹介しました。またかつてイチロー師匠に、昔話を語る際は「ウン話」で人形にあまりしゃべらせないやり方があると指導されたそうです。「〇むかしむかし」「×ウン」「〇おじいさんとおばあさんがいました」「×ウン」「〇おじいさんは山にしば刈りに」「×ウン」…。

春風赤とんぼさんは、人権擁護委員として小学校で活動することになった折、面白い話が見当たらず腹話術を使うことを思いつきました。「腹話術を知りたくて、知りたくて…」イチロー師匠に叱られながらも教えてもらい、研鑽を重ねた結果、いじめについて県内で約400回の腹話術の公演を行ったそうです。64歳で習い始め「春風襲名が80歳とは、これまでで一番の高齢なのではないか」と、とんぼ先生に言われたそうです。

ロゴスの腹話術が大好きな皆さんへ　　2025年7月1日　春風とんぼ

皆さん、こんにちは！春風とんぼです。
「声だけを聞くと、昔と少しも変わらない」と言われますが、そんなに昔から、こんな老人ボイスでしたか？
さて、皆さんが随分心配してくれているのにそんな言い方はないわね。ありがとう。
実はカイセンが伝染病だって！　春日井市民病院に隔離され1ヶ月。続いて尻もちをドッスン4回。立ち上がり不能、歩行困難。ああ、それから4ヶ月。

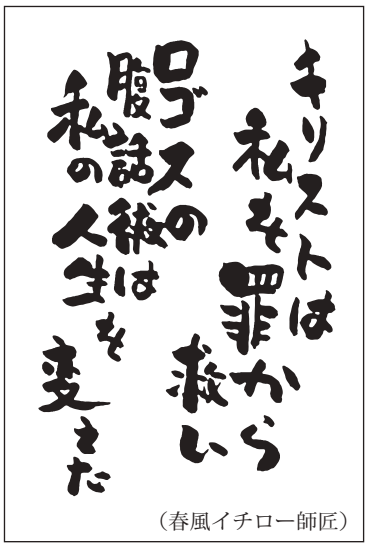
今、皆さんに会いたい、ロゴスを語りたい。必死にリハビリにとりくんでいます。ロゴスを語る時のよろこび、わかります？お人形カンチャンと語る時の喜びわかります？頭はなんとか活動していますので、病院で2回、笑顔、はずむ声で講演しました。台本は全国から6通、応援しました。ことば遊び、ことば研究、台本推敲の、大変さを味わいながら、近い将来に備えています。
どうか皆さん
笑って下さい。声をはずませて下さい。やさしく、じっーとみつめてください。人気ものになりますよ。
笑顔、はずむ声、やさしいマナザシはとんぼの売りものです。

さて初めての試みですが、みんなで台本集を作ろうとしています。
どうぞ協力してください。
よいものを作りましょう。近い日にお会いできることを楽しみに。

予告：
次回秋季研修会は2025年11月24日月曜（振替休日）
グリーンパレス春日井にて実施します。前日23日（日曜）同施設で有志が集まり腹話術談義等をしますので、ぜひご参加ください。

■2025年度 年会費（6,000円）、寄付のお願い

【年会費・寄付金振込先】（名義は、“一般社団法人ロゴス腹話術研究会”です）
ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127
※お願い：通信欄には、お手数ですが、振り込みの内訳（2024年度年会費、寄付）をご記載ください。



（春風イチロー師匠）

〈編集後記〉
今年の総会・研修会では、田口先生の「アブラハムの信仰」の力強いメッセージをいただき、励まされ感謝でした。また春風を中心とし参加のみなさまのご協力で、楽しく実りある会になりました。紙面の都合で今回は省いていますが、人形操作の研修もこの先共有したく思っております。ぜひ日々の練習に、貼ってあるQRコードから動画も活用してください。
残暑厳しいですが、どうぞお人形と仲良く、元気にお過ごしください。

発行：一般社団法人 ロゴス腹話術研究会 事務局　〒211-0005　神奈川県川崎市中原区新丸子町734−1 アベニオ新丸子ビル402号
TEL：044-733-6650　FAX：03-6868-3638　メールアドレス：harukaze@logos.or.jp　ホームページ：https://logos.or.jp